

デンマークのホスピスHospice Sydfyn NADAをプログラム全体に統合

LarsWiinblad著



デンマークでは、NADAがホスピスに導入されて10年。NADAプロトコルがストレス、不安、痛みに役立ち、緩和ケアにおける投薬の必要性も減らすことがわかりました。

NADAプロトコルは非言語を基礎としていますので、話したいと思わない患者は簡単に適応することができます。

20年前、デンマークのNADAプロトコルは、主に薬物治療プログラムと精神科ユニットで使用されていましたが、この10年間で、これらは変化しました。

NADAプロトコルは現在、緩和ケアなど、さまざまな新しい分野で使用されています

いくつかのデンマークのホスピスでは、補完的な方法としてNADAを導入しています。

また、毎年多くのNADAトレーニングが実施されています。

Hospice Sydfynは2012年に建設され、12人の患者を収容できます。彼らのほとんどは居住者ですが、一部の患者はレスパイトケアのために来ます。

患者がHospice Sydfynに到着すると、すぐにNADAのチラシが目に入ります。NADAはホールのテレビ画面で説明されています。さらに詳しい情報についての小冊子もあります。

NADAプロトコルは、患者と家族へのサービスされています。

いつでもどこでも、規則はありませんが、家族ははしばしば患者との一緒にグループ設定でNADAを受け取るように勧められます。

子供には磁気ビーズが提供されます。

Hospice Sydfynの経営陣は、当初から補完的な方法としてNADAをサポートしていました。スタッフは必要なときにいつでも患者を支援できるように、実施計画にNADAトレーニングを取り入れています。30人のスタッフがADS(acudetoxspecialist)として、NADAプロトコルを毎日提供しています。

ほとんどの看護師はNADAトレーニングを受けています。

患者とその家族は、昼夜を問わずいつでもNADAプロトコルを受けることができます。

看護師、医師、医療関係者だけでなく、司祭、ボランティア、厨房担当者、技術者、事務助手などのスタッフが、ストレス解消のためにNADAトレーニングを受講しています。

Pia Aaesは、Hospice Sydfynの看護師であり、NADAプロトコルの市民地域コミュニティの共同創設者でもあります。

彼女は、NADAはより良い睡眠を促進し、不安やストレスを軽減するために最も頻繁に使用されていると述べました。

また、薬物療法の補完的な方法としてせん妄に対しても効果的です。

一般に、NADAプロトコルは精神安定剤とモルヒネの使用を減らしました。

彼女はさらに次のように付け加えました。「薬による副作用なしに不安や落ち着きのなさを減らすことができます。患者は精神安定剤の代わりにNADAを求めます。私たちの患者のほとんどは、一度試すと、NADAを再び（多くの場合、毎日）要求します。」

鍼治療は誰にとっても意味がなければいけません。一部の家族はストレスが多すぎて、NADAを受ける前に多くのケアが必要だと感じていますが、ほとんどの場合、NADAプロトコルは受け入れられ、大きな違いを生んでいます。

これについて、Pia Aaesは、次のように説明しています。「家族はNADAプロトコルの恩恵を受けています。それは、家族がリラックスし、心を落ち着かせ、悲しみにうまく対処できるようにするためです。鍼を使って、考えたり心配したりすることから一旦離れる場を提供することができます。」

NADAプロトコルは、非言語的な方法が必要なトラウマやストレスの多い状況で役立つツールです。

それは、対処の過程で患者と家族を助け、混沌とした状況でしばしの平和を見つけるのに役立ちます。

Hospice Sydfynでは、NADAプロトコルが患者とその家族がより穏やかで思いやりのある方法でコミュニケーションするのに役立っています。

多くの家族は、NADAセッションの後、一感情的で複雑な話題について話すことが楽になったと感じています。

Aaesは次のように付け加えました。「患者や家族が悲しみに対処し、迅速かつ簡単な方法で悲しみを手放すのを助けることができるのは、看護師としての私の特権です。」